



住みやすい町を目指して…②8

地元の情報を分かりやすく伝える 神山新聞を発行

神山自治会生涯学習委員 勝又 新太郎 (神山在住)

神山自治会規約に、役員同士の相互協力で、住みやすい地域づくりと松田町の繁栄のために実践すると定めています。自治会には9つの専門委員会があり、お互いに協力し合って事業を運営しています。

私の企画している生涯学習委員会事業は、夏祭りや文化展および奉仕活動のほか、カラオケ教室と書道教室ですが、他の専門委員全員が自分の事業のように協力してくれます。このように、土木・神社・スポーツ・文化事業にも同様に相互に協力し合っています。

神山新聞発行のきっかけ

さて、自治会事業の情報は、文書によるお知らせと結果だけのものが多く、楽しく読みやすいものとはいえません。しかも、町行政の多くの情報と一緒に回覧板で回していますので、家庭において、お母さんだけが見て、または、お父さんだけが見て次に回す場合や回覧枚数が特に多い場合は、じっくり見ないで次に回すことがあると思います。

そこで、生涯学習委員会は、他の専門委員会の協力をする立場で、各専門委員会の情報を興味深く読んでもらえる地域の情報誌としての神山新聞を平成24年から発行しました。時たま入るその新聞を読んでもらうことで回覧板を、皆さんが注意深く見ていただ

けるのではないかと考えました。回覧なので、すぐ読めるA4用紙1枚にすると同時に、興味深く読んでもらうために、カラー印刷のほか、次の点に配慮しました。

目を引くための配慮点

- ①記事の見出しは、一般新聞のように斜め下に流れるように配置して、二段三段目にかけて一つの記事を記載してみました。
- ②定型的な自治会行事の回覧文書を補完する意味で、各専門委員会の役員紹介と日頃の仕事を、わかりやすいように写真やイラストを入れた記事にしています。
- ③お互いに住みやすい毎日の生活を送るために、自治会規約を正しく知ってもらおうと、ポイントを押さえた解説に心がけています。
- ④一般文書で、参加者募集や協力要請する場合は、新聞形式にした方が素直に読んでいただけるような気がするので、文書と新聞の両方を回覧する場合も試してみました。



平成28年6月15日号「納涼大会特集号」

た。効果はあったと思います。

さて、神山新聞発行は、まだ5年目ですが、今後も進む高齢化と核家族化で、ますます地域の相互扶助が必要になって来るので、組長のあり方を含めて自治会運営についての問題提起、さらに地区住民の親睦に結びつくような情報新聞となればよいと思います。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています! 第1回定例会は3月1日(水)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
石内	中野	南雲	井上	田代	利根川
浩	博	まで子	栄一	実	茂

議会広報広聴常任委員会

3月議会は、新年度の予算
議会で、町民の代弁者として
審議をしますので、議会の傍
聴をお待ちしています。

(石内)

町議会では、初の議会報告
会や学校統合問題に係るPT
Aとの懇談会など、町民の皆
様の声を直接伺う場を持ちま
したが、さらに身近な議会を
目指してまいります。

昨年、アメリカ大統領選
挙、イギリスのEU離脱、東
京オリンピック会場や豊洲市
場問題など論議を呼ぶととも
に、議会や議員が表に出るこ
とが多くありました。

